

野田・九条通信

2006年・2月号
NO. 7
「野田・九条の会」事務局
TEL 7122-0502

「高遠菜穂子」講演会 大雪の降る中、一七〇名の市民が参加 報道されないアメリカの残酷なイラク戦争に怒り

関東地方に大雪を降らせた1月21日、市中央公民館で行なわれた「高遠菜穂子講演会」に、椅子が不足する170名もの市民が来場。「報道の見えない壁の向こうで、イラクでは何が起きていたのか」と題する講演を驚きをもって聞きました。



04年にメディアへの圧力がかけられ、報道の規制により状況が正確に伝わらないこと。結婚式場が米軍の爆撃を受け、41人もの子どもが殺されたこと。「テロを殺しイラク人を助ける」の名目でやられたフアルージャ総攻撃は、市民虐殺のまさに地獄図。これら数多くの現状を、画像で写し出しながらの講演でした。戦争はどんな理由を付けようとも悲惨なもの、絶対に繰り返してはならないと感じさせました。

「改憲の準備が着々と進められ、通常国会中に国民投票法案」を通してうとしているが、再び過

去の過ちを繰り返さないために、憲法を守り輝かせ、世界の本当の平和への願いをこめて希望の光を推進しようではありませんか」と訴えています。

「大雪にも関わらず多くの市民が集まり、今日の講演会は大成功。次は『ガラスのうさぎ』上映の成功に全力を。このアニメを子どもと親が一緒に観賞し、戦争や平和の問題を話し合う機会として、憲法を守る運動を広げましょう」と訴えました。

九条への想い 柳 柳一郎(野田・九条の会事務局) 「君が代」の強制は戦争前夜

退職間際の04年3月、私は東京都教育委員会から戒告処分を受けた。卒業式の君が代斉唱の時、起立しなかった事が公務員としての信用失墜行為に当たるといふのだ。

私の生後間もなく父は病死しているため、私は父の顔を知らない。

あの戦争が朝鮮・中国・東南アジアの国々に対する侵略戦争であり、お国のためでも、まして国民のためでもなかった事は歴史的事実でしょう。

侵略戦争のシンボルだった日の丸を壇上にかかるといふ脅しに反発し、裁判や人事委員会に提訴をし、反撃している。

「君が代」の強制は戦争前夜にしよう。石原都政は、都立学校を戦争前夜にしようとしている。私は、処分を戦争前夜にしよう。戦争前夜にしよう。以前は、学校ごとに生徒たちが卒業委員会などを作り、生徒が主人公とする。

会のアピールを発表

講演のあと呼びかけ人の一人、森本房子さんか

活動報告

◎一月例会を開催

新年最初の例会は、14日に開催。経過報告の後、目前に迫った「高遠菜穂子講演会」当日の役割分担や会場づくりの打ち合わせをし、アピール文の確認をしました。

次に、取り組みが遅れているアニメ「ガラスのうさぎ」上映について話し合われました。

上映実行委員会が作られ、教育委員会の後援を得ることができ、宣伝の仕組みも準備できましたが、「前売り券」販売の状況が把握されていません。「前売り券」の扱いを増やす事と、券販売の促進を賛同者に協力を求める事になりました。

◎「ガラスのうさぎ」

宣伝活動へのご協力を
日時 2月5日
場所 ロックタウン・マックスバリュール前
午後1時30分集合。
ご協力をお願いします。

◎「野田・九条の会」

2月例会の開催は
日時 2月11日14時
場所 櫻のホール和室